

# 愛 川 町 教 育 委 員 会

平成 2 3 年 3 月 3 0 日

## 愛川町教育委員会 3 月定例会会議録

- 1 会議日程 平成23年3月30日（水）  
午後2時00分から午後3時03分
- 2 会議場所 愛川町文化会館3階特別会議室
- 3 議事日程 日程第1 会期の決定について  
日程第2 前回会議録の承認について  
日程第3 教育長報告事項について  
（1）教育長報告事項  
（2）平成23年度第1回議会定例会  
（3）その他  
日程第4 愛川町立公民館長の任命について（半原公民館）  
日程第5 愛川町立公民館長の任命について（中津公民館）  
日程第6 愛川町教育委員会事務局及び関係機関の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定について  
日程第7 放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正する規則の制定について  
日程第8 愛川町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について  
日程第9 学校医の委嘱について  
日程第10 学校薬剤師の委嘱について
- 4 出席委員 教育委員長 岡 本 弘 之  
委員長職務代理者 平 田 明 美  
教育委員 足立原 威  
教育委員 榮 利 隆 一  
教育長 熊 坂 直 美

5 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者

|              |         |
|--------------|---------|
| 教育次長         | 沼 田 卓   |
| 教育総務課長       | 河 内 健 二 |
| 生涯学習課長       | 大八木 尚 一 |
| スポーツ・文化振興課長  | 近 藤 史 朗 |
| 教育開発センター指導主事 | 佐 野 昌 美 |
| 教育総務課副主幹     | 佐 藤 貴   |

---

◎開会

- （岡本委員長） 定刻ちょっと前ですけど、おそろいようですから始めたいと思います。  
皆さん、こんにちは。

ただいまの出席委員は5人でございます。定足数に達しておりますので、3月愛川町教育委員会定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより、日程に入ります。

---

◎日程第1

- （岡本委員長） 日程第1、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期であります、本日1日と定めたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

---

◎日程第2

- （岡本委員長） 次に、日程第2、前回会議録の承認についてを議題といたします。

会議録につきましては、既に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑等がありましたら、お願いいたします。

（「異議ありません」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第2、前回会議録の承認については、原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

---

### ◎日程第3

○（岡本委員長） 次に、日程第3、教育長報告事項についてを議題といたします。

（1）教育長報告事項について

（2）平成23年第1回議会定例会について

以上、2項目について一括で説明をお願いいたします。

教育長。

○（熊坂教育長） それでは、初めに資料1をご覧いただきたいと思います。

本日、差しかえをさせていただきました。2月22日から3月29日までの間に出席いたしました主な会議等は、以下のとおりでございます。二、三ご説明をさせていただきます。

初めに、3月1日からでございますが、町の議会が始まりまして、最終日が25日でございます。3月の議会は主に予算関係の審議ということが中心になるわけですが、2月に予算の概要についてお話をいたしました、原案のとおり予算が成立しております。

一般質問につきましては、後ほど説明をいたしたいと思います。

続きまして、3月6日でございますが、中津公民館まつり、これは毎年行われますが、2月28日から展示等が始まりまして、最終日が3月6日ということで、3月5日と6日、2日間にわたりましてステージ等での発表も行われるということでございました。大勢の方が参加をされまして、おおむねこの1週間で1,300の方が見学に来たり参加をしたりということで、盛大に公民館まつりができたようでございます。

続きまして、3月11日と14日に防災会議と書いてありますが、これは東北関東の地震がありまして、町ではどのようなことを対応しようかということで会議をいたしまして、本日資料はお手元に届いておりますか。

1日付けで新聞の折り込みに入れる資料を、そのような内容で「町民の皆様へ」という資料でございますが、町の対応をそこへまとめて記載してございます。いろいろわさがうわさと呼ぶと事態と違った方向に動いてしまうということもありますので、町の対応をまとめて載せてあります。後ほどご覧いただきたいと思います、いろいろ報道でも問題になって

おります放射能等がこの地域では特に問題はありませんということでございます。

そのほか今、義援金を町内6カ所に義援箱を設置いたしまして、義援金を町民の方から募っている最中でございます。なお団体等で大口にまとめられた場合には、町の福祉支援課、あるいは社会福祉協議会で受け付けているということでございます。その場合には、必要に応じて領収書の発行ができるというようなことを聞いております。細かい点がたくさんありますので、後ほどご覧いただきたいと思います。11日はちょうど子どもたちがまだ学校にほとんどいる時間でしたが、幸いなことに、学校等それから子どもたちに被害はございませんでした。今までの訓練のとおり、落ち着いて避難もできたということを各学校からお聞きしております。

続きまして、最後の3月29日、昨日でございます。文化財保護委員の会議がございまして、実は2月に委員長でありました小島宗二先生がお亡くなりになりましたので、新たに文化財の保護委員長として半原の小島秀也氏をお願いをしております。

今まで小島秀也氏は副委員長をされておりましたので、スムーズにこれからも文化財保護委員会が動いていくのではないかと考えているところでございます。

続きまして、資料2をご覧いただきたいと思います。

3月の定例会の一般質問でございますが、今回の一般質問は10人の議員の方がされました。表紙をめくっていただきますと、裏側に主な質問の内容等が書いてございますが、教育関係は4人の方がございました。

井上博明議員でございますが、毎年児童生徒の問題行動のことはご質問されるわけですが、今回は、以前皆さんにお話いたしました愛川中のことも少し含めて答弁をしております。学校と協力してしっかりやってほしいというふうなご要望がございました。

それから、2人目が熊坂徹議員で、いよいよこの4月から小学校は新しい学習指導要領でスタートするわけですが、その中の英語教育についてということで、国のほうもはっきりしているようなしていない部分があるということ、とにかく新しい内容であるということから、将来的ビジョンを持ってやってほしいということ、それから地域での指導者も育成が必要ではないかというような話がございました。

3番目が小倉議員でございますが、小倉議員は大変環境教育に関心を持っておられまして、絶滅危惧種になるような種を保存するようなことを話をされました。八菅の耕地には絶滅危惧種に当たるような昆虫類がいたりしますので、その問題の話がございました。

最後に、渡辺議員のほうからは、35人学級を文科省が打ち出して、果たしてきちっとスタ

ートできるのかどうか、ちょっと不安があるんですが、その場合の町の対応についてということでございました。

その時点では35人学級、小学校6校のうち該当するところがなかったんですが、どうやら中津小がぎりぎりハードルを超えたということで、このまま減らなければ35人学級の適用ということで、今までの点ですと2学級だったのが3学級でスタートができるかもしれないというようなことでございます。

それから、もう一つは子どもの読書環境を整えてほしいというようなことでご質問がありましたが、将来的には図書館のことも考えなきゃいけないわけですけど、まずは学校の図書の規律を考えていきたい、このようなことでございます。

答弁いたしました第一答弁の内容は、記載されておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

以上、2点についてご報告といたします。よろしく願いいたします。

○（岡本委員長） 説明ありがとうございました。

これより質疑に入ります。初めに（1）の教育長報告事項について、聞きたいことがありましたら、お願いいたします。

足立原委員、どうぞ。

○（足立原委員） 教育長の報告事項の中に、26日の総合型地域スポーツクラブ設立総会と書いてございますが、総合型地域スポーツクラブについて、もうちょっと詳しくお願いしたいと思います。

○（岡本委員長） 教育長、お願いします。

○（熊坂教育長） 実は、大分前なんです、平成12年度に国でスポーツ振興の基本計画をつくりました。その中で人生80年の時代を迎えて、生涯を通じてスポーツを楽しむことを振興していこうという考えがございまして、その中で出てきた内容が、表題としては、「総合型地域スポーツクラブ」というものを設置していこうということが出ておりました。

ですから、普通の今までのスポーツクラブと言いますと、単一の種目で力をつけて、大会等で勝つということを目指すようなクラブが多かったわけですが、そうではなくて、できれば総合型ということで、そのクラブの中で何種目もいろいろできて、自分たちが興味がある、これをやりたいというときには、これができて、あるいはこちらのほうがやりたくなったら、こちらができるというような、そういうものを、中身を幾つにするかはそのクラブの中で考えなさいということなんです、そういう形のクラブを、各自治体で少なくとも10年間をか

けた中で一つはつくりなさいというのが、国のほうのそもそも計画の指針として出ておりました。

何年か前の愛川の教育を見ていただくとわかるんですが、スポーツ・文化の重点の中に総合型地域スポーツクラブの育成という項目を入れていたわけですが、県のほうもぜひやってほしいというようなことで、二、三年前から支援をしていただきました。基本的には、「愛川ウェルネスクラブ」、健康体操だとかそういう類のものが一つのクラブとして誕生いたしました。

中身としましては、ですからそういうエアロビクスをやったりとか、さまざまヨガをやったりとか、いろんなものができるようなジャンルがあって、自分がやりたいときには、こちらをやり、あるいはこちらをやるということができるようなクラブでございます。その設立総会が26日に中津公民館で行われまして、これは県のスポーツ課の職員もまいりました。その中の予算を見ましたら、国の補助金が毎年5年間にわたり約500万円出てくると、ですから5年間にすると2,500万になるわけですが、それからは自分たちで実施してやりなさいということなんですが、ですから講師の先生を呼んで指導してもらったところの講師料だとか、あと県への報告の書類をつくるための事務用品を買ったりとか、いろんなことに使えるというお金が補助金として出ております。

当然、自分たちも年間何千円かの会費として払うというようなことで、それを合わせた予算が組まれておりました。そういうのが初めて愛川町に誕生いたしました。

神奈川県下を見ますと、まだ十二、三の市、町できていないんです。この近辺ですと厚木市、それから海老名、大和、この3つの市では、まだ立ち上がっていないという状況がございます。国の指針が10年ということでしたので、ようやくその最後のところで町のほうではできたということでございます。

以上でございます。

○（足立原委員） はい、わかりました。クラブは幾つぐらい、設立総会ですから、そういうグループが幾つか集まった、じゃなくて。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（熊坂教育長） もとものの単体の団体は七つあるそうです。ただ、ウェルネスネットワークということで、今度是一个の団体として活動をするということだそうです。

○（足立原委員） 事務局は、やはり体育スポーツじゃなくて、その辺は。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） 事務局は、あくまで団体の事務所ということでございまして、実際に事務所というのは自宅になってしまうことになると思うんですが。今後、それらはまた課題ということになろうかと思います。

○（岡本委員長） よろしいですか。

○（足立原委員） 結構です。

○（岡本委員長） ちょっとよろしいですか、従来そういう種目の団体がございましたね。そういうのはまた別に残るんですか、そういうのが残って新しく総合型ということで複合型でやるということですか。

はい、どうぞ。

○（熊坂教育長） 一つになってしまうということです。ですから、単体で残るという形はとらない形ですね。

ですから、体育協会にある今までどおりの種目は、それは全くこのクラブとは関係がありませんので、体育協会として野球は野球とか、そういうのは全部あります。それ以外に新たにそういう形のものが立ち上がったということです。

○（岡本委員長） ちょっとよろしいですか、既にそういう団体も活動をしておられるわけでしょう、個々には。それを一緒にしちゃうということなんでしょう。基本的には、違うんですか。

○（大八木生涯学習課長） 実は、私がスポーツ・文化振興課長をやっているときに、県のほうから依頼がありまして、まず準備団体の設立という話があったんです。そのとき、今のウェルネスというのは、既にその名前で六つも七つも団体を抱えており、これならば総合型スポーツクラブとして受けられるだろうと、そちらを県のほうに推薦をして、2年間ほど準備段階として活動を始めていただき、今の話にやっとここで正式な総合型地域スポーツクラブということで認定がされたと、こういう経緯で、もともとウェルネスという団体がいくつものクラブを持っていたということです。

○（足立原委員） 町民体育大会なんかには体操をやりますよね、指導員が。あれとはまた違うんですか。

○（岡本委員長） どうぞ。

○（大八木生涯学習課長） それとは違います。あれは体育指導委員でやっているの、それは違います。もともとウェルネスという名前の団体がいろんなクラブを持っていたと、わざわざ集めたんじゃないくて、もともと代表者がコバヤシさんという方なんですけれども、その



方が指導していて、幾つも団体を持っていたので、わざわざ集めるんじゃなくて、組織があるから、それを今度は総合型地域スポーツクラブということでやっていただこうとしたものです。基本的には県が主体となり指導・助言し、町は中を取りもったと、こういう形です。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（平田委員長職務代理者） それで、国からも予算が出ているというものがあるので、その辺の状況はどうなのでしょう。予算的なこととか、使い方のこととか、今個人の方がそういうふうなものを持っていたわけですよね、一つの大きな中に。

○（岡本委員長） 教育長。

○（熊坂教育長） その計画書、それから報告書の作り方はかなり細かく県から指導がされます。ですから補助金も当然もらっていますので、計画書を県に出し、そして報告書も県に出すという形で、今まで2年間その準備をやる中で細かく事務的なものも指導されていますので、事務局をつくって、その中で担当が会計をやり、計画をつくるという、そういうこともされるそうなのです。

○（足立原委員） クラブ員は何名くらいいらっしゃるんですか。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） 約110人です。

○（岡本委員長） 110人。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） 正式には111人と総会では聞いております。

○（岡本委員長） ちょっとよろしいですか、今、国では様々なスポーツ団体が文科省の管下であったものを、スポーツ省というのをつくろうということで動いてますよね。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） はい。

○（岡本委員長） その目玉にしたいわけですかね。何か突然こんな総合型地域スポーツが出てきて。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） スポーツ立国戦略ということで、今年の8月示されまして、そういった中で地域総合型スポーツ、これは今後スポーツ振興法ですか、当然法律的なものも考えていまして、それで総合型については、最終的にはt o t oの補助金なんですけど、そういったことで国もあわせて一緒に進めていくということで伺っております。

○（岡本委員長） ほかによろしいんですか、はい、どうぞ。

○（平田委員長職務代理者） 今、そのウェルネスクラブ、エアロビクス云々をやっている方、指導者の方は存じ上げているんですけれども、あの方は収入は指導料としていた

だいてますよね、入って来られる方から、当然。それは取っていると思うんですよ、微々たる金額の奉仕料として。それと、今のこれとは必ずちゃんと区切りをつけてますよね。そうじゃなきゃおかしいと思うんです。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（近藤スポーツ・文化振興課長） あくまで総合型の中でクラブマネージャーという形になっていただきまして2年ほどなっているんですが、そういった中で運営していくということで、あくまでその総合型の中で、先ほど教育長のほうで申し上げた七つの団体を一つにしたと、そういうことでこの5年間進めていくことになりまして、その後の活動状況、そういったものを見させていくという形になると思います。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（熊坂教育長） 今まで生涯学習の一環としてのクラブで動いて来られたわけですが、今度はこの形になりますので、スポーツ振興のほうのクラブ、そういう形として動き出すということになります。

ですから、確かに公民館も当然会場として使うわけですが、そのほかにも体育館を使ったりというようなことで、活動の場所がややほかの生涯学習のサークルとは違った形になると思います。

国が出しましたパンフレットの一部分がここにございますので、もしあれでしたら、また後でコピーをして出したいと思いますが、生涯スポーツという観点で既に平成12年ですから11年前から国が声をかけてきたわけですが、なかなか神奈川県は浸透が遅い部類になるんでしょうか、地方のほうはむしろ先に進んでいると。

なぜかという、愛川町等はもともと体育協会に厳然たるクラブが全部あるわけです。体育協会等。ですから、そういうところが弱いところはこれで補うというような形をとったりしているところもあったり、あるいは綾瀬のほうを聞いてみますと、中学生の部活動の放課後の部分をこれで担うと、そういう動きもあるそうです。

ですから、一つの型にはまったものではなくて、いろんな形のものが総合型スポーツクラブというものはつくられていくのではないかという感じがしております。

○（岡本委員長） はい、どうぞ。

○（足立原委員） その指導者になる人は、例えば何かの種目の指導資格、経験なり、あるいは講習なりで持った人がやるとか、そういう形になるのかなと思うんですが。

○（熊坂教育長） 会で会長さんとか、いろいろ役割分担があるわけですね、ですから、それ

は会の運営のほうの役員さんであって、指導者はその中で必要に応じて指導者を頼むという形をとるんだそうです。

ですから、当然新しい指導者を頼めば講師料がかかるので、そこには補助金なり自分たちの会費のお金が支払われると、予算の上でもそんな感じのものが含まれておりました。

○（足立原委員） やはり、その会員の方は、どちらかという年齢の高い方が多いんですね。

○（熊坂教育長） たまたまうちのほうのクラブはそういうわけですが、綾瀬でつくっている中学生の部活のほうは、ですから対象が中学生ということで非常に若い子どもが入っている。

○（岡本委員長） それもできるんですね。

○（熊坂教育長） はい。それから、場所によっては本町がやってますスポーツ少年団、それに類するものをこの総合型スポーツということで進めているところもあるそうです。

ですから、その場合には子どもがほとんど対象なんですけど、基本は、このクラブは子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人を将来的には入れたクラブにしてほしいというようなこともあるようです。

○（岡本委員長） 神奈川県でどのくらいですか。

○（熊坂教育長） 今、正式にできていますのが50から60近いんでしょうね。

○（岡本委員長） そうですね。

○（岡本委員長） 神奈川県では既にできている訳ですね。

○（熊坂教育長） 横浜あたりは結構たくさんあったりとか、市町村によって数が大分違うんですが、清川村も一つか二つありますので、本町はようやく一つできたと、ここで山北もつくっているのかな。

○（岡本委員長） 相当な予算ですよ。

○（熊坂教育長） そうですね。

○（岡本委員長） 愛川町も500万毎年来るわけですか。

○（熊坂教育長） 町に来るんじゃなくて団体へいくわけです。ですから町はそここのところのお金には一切……

○（岡本委員長） だから愛川町にある団体に500万が来るわけですね。そういう団体が2つつくればそこへまた500万ずつ来るわけですね。

○（熊坂教育長） 県が認定すればですね、最終的には。

○（岡本委員長） ああ、そうですか。そうすると相当な費用がかけられるわけですね。

○（熊坂教育長）　そうですね。ただ5年間で打ち切りですので、あとは自分たちのお金でやるというか、そういうことですね。

○（岡本委員長）　なるほどね。

○（足立原委員）　体協には幾つかありますね、いろんな種目が、そこではそんなに補助金を町からももらってないし、非常にやはりその方々としてはうらやましいというか、一生懸命やられるわけですけども、ちょっと運営面でも差が出てくるというか、そういうものがあるんじゃないですかね。町への要求なんかも。

○（岡本委員長）　ほかによろしいですか。

お金が出るのならそれはそれでいい方向に使って、愛川町のそういう活動も盛んになればいいと思うんですけど、いろいろ詰めなさいいけない課題も出てくるんでしょうね、指導者の面とか、いろんな面でね。その辺のところは今後検討して、いい形で進むようにやっていただければと思います。

○（熊坂教育長）　もう一つ、つけ加えさせていただきたいと思うんですが、実は県の体協が財団法人に移行するということで、小さい町の体育協会はどうなるかわかりませんが、国の方針はどうも財団に全部していくと、そうなったときに、果たしてこういうものとの兼ね合いがどうなるかということですね。

○（岡本委員長）　そうですね。

よろしいですか。

では、ほかに質問がないようですので、次の（２）平成23年第1回議会定例会について、お聞きしたいところがありましたらお願いいたします。

最初の質問にある教育行政について、一中学校の問題等について、議員さんが質問なさって議題になっているんですけど、その後、この件については落ち着いたんでしょうね。その辺どうですか。

○（熊坂教育長）　3学期に入りまして、大分落ち着くような方向に動いておりまして、榮利委員さんにも卒業式に行っていただいたんですが、私も卒業式に臨んだわけですが、どの学校とも変わりなく厳粛にできておりますので、落ち着いた方向になると思っております。

○（岡本委員長）　ありがとうございました。早く落ち着いて正常になってくれるとね。

ほかにございませんか、質問等、よろしいですか。

それでは、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議あ

りませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第3、教育長報告事項については、教育長報告のとおりご承認を願います。

次に、（3）のその他について、各委員より報告事項やご意見などがありましたらご発言ください。

よろしいですか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） 特にないようです。

それでは、事務局のほうから何かございますか。

（「特にございません」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） よろしいですか。

---

#### ◎日程第4、日程第5

○（岡本委員長） それでは、次に、日程第4、議案第10号、愛川町立公民館長の任命について（半原公民館）、日程第5、議案第11号、愛川町立公民館長の任命について（中津公民館）の2議案については関連がございますので、一括議題といたします。

提案者の説明をお願いします。

教育長。

○（熊坂教育長） 愛川町立公民館長の任命でございますが、公民館長は任期が1年となっております。したがって、今回は平成23年4月1日から平成24年3月31日までの間の公民館長の関係でございます。

初めに、半原公民館でございますが、現在の館長、藤本弘氏の再任をしたいものでございます。

続きまして、中津公民館のほうでございますが、現の木藤館長さんが4年経過をされるということで、ここで退任をされます。その関係で新たにそこにありますように、澤田孝夫氏を新任として任命したいものでございます。

なお、文化会館も公民館長ということなのですが、文化会館につきましては、退職者の再任用という形をとりまして、今の予定では現民生部長であります加藤光男氏を再任用で予定をしてございます。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○（岡本委員長） 説明は、以上です。

これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

特によろしいですか。

では、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） では、ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し表決に入ります。

議案第10号 愛川町立公民館長の任命について（半原公民館）の採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第10号、愛川町立公民館長の任命について（半原公民館）は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第11号、愛川町立公民館長の任命について（中津公民館）の採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第11号、愛川町立公民館長の任命について（中津公民館）は、原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第6

○（岡本委員長） 次に、日程第6、議案第12号、愛川町教育委員会事務局及び関係機関の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。

提案者の説明をお願いします。

教育長。

○（熊坂教育長） 議案第12号でございますが、先ほどお話ししましたように、来年度の予算等が決定いたしまして一部新規事業が入ってまいります。その関係で事務分掌の追加をしなければいけないということがございまして、愛川町教育委員会事務局及び関係機関の組織等に

関する規則の一部を改正するというにしたいものでございます。

詳細については、担当のほうから説明を申し上げますので、よろしくご審議のほどをお願いいたします。

○（岡本委員長） 教育総務課長、お願いいたします。

○（河内教育総務課長） それでは、私のほうから議案第12号の規則の一部を改正する規則の制定について説明をさせていただきたいと思います。

資料につきましては、お手元の議案第12号を1枚おめくりいただいて規則がございまして、そちらをごらんいただきたいと思います。

まず、本規則の第3条でございまして、これは教育総務課の事務分掌でございまして、その規則の一部を次のように改正する。その次に3行目、第3条教育総務課の項第36号中ということで、以下お示しをさせていただきます。

それで、第36号の条文の全体は、就学奨励金、就学援助費、それから就園奨励補助金及び通学助成金に関するということということで、この36号の条文になってございます。

そして、先ほど教育長のほうから説明がありましたように、平成23年度につきましては、新たに高等学校等の入学準備金の助成を行うということにいたしました。その条文をここに盛り込んでいくということでございまして、それに伴いまして、このうちの後段の通学助成金は平成22年度、今年度から自主運営をまいりました、これも高等学校等を対象とした就学に係る助成ということでもございますので、この通学助成と、それから入学準備金を合わせて新たに第37号に盛り込んでいきたいということで考えてございまして、したがって、第36号については、通学助成金という条文を削除させていただくものでございます。そして、第37号で改めて高等学校等通学助成及び入学準備金助成に関するということということで、第37号を新たに条文に加えまして、したがって、そのお手元の後段に書いてありますように、現行の第37号から第64号までを1号ずつ繰り下げをするということで、36号の次に次の1号ということで、（37）高等学校等通学費助成及び入学準備金助成に関することを、第37号に新たに加えるというようなことでの改正でございます。

以上が説明でございます。

○（岡本委員長） 説明は、以上であります。

これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

特によろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） では、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第12号、愛川町教育委員会事務局及び関係機関の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第12号、愛川町教育委員会事務局及び関係機関の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定については、原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第7

- （岡本委員長） 次に、日程第7、議案第13号、放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。

提案者の説明をお願いします。

教育長。

- （熊坂教育長） 議案第13号でございますが、放課後児童クラブの定数が現在35人になっておるわけですが、その一部のクラブにつきまして定員増を行いたいということがございまして、放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正したいものでございます。

なお、詳細につきましては、後ほど担当からご説明申し上げますので、ご審議の上、お認めいただきたいと思います。

- （岡本委員長） 生涯学習課長。

- （大八木生涯学習課長） それでは、規則の改正でございますけれども、本件につきましては、先月の教育委員会の席上で待機児童の緩和のために、現在、待機児童が出ております中津児童クラブと菅原児童クラブの定数を改正したいということでございます。議会で来年度予算が成立いたしましたので、今回挙げさせていただきました。

資料2枚めくっていただきまして新旧対照表をご覧ください。



こちらの、左現行がすべて35人以内となっておりまして、それを右側の改正案で中津児童クラブを40人以内に、菅原児童クラブを40人以内に、5名ずつの増員をするということでございます。

ちなみに、今回、これを改正することによりまして、今日現在の申し込み状況を見ますと、半原が26人、田代が14人、高峰が18人、中津が43人、中津第二が33人、菅原児童クラブは41人、そうしますと、現行でやりますと待機児童が中津ですと8人、菅原児童クラブですと6人が待機児童になります。

今回、改正することによりまして、中津児童クラブが3名の待機児童、菅原児童クラブが1名の待機児童という形の緩和が図れるものでございます。

説明は、以上でございます。

○（岡本委員長） 説明は、以上であります。

これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いします。

特によろしいですか。

これだと中津児童クラブ、それから菅原児童クラブ、40にふやしたにもかかわらず、まだそれを超える希望者があるということですね。これまた一つの今後の課題ですね。年度によって違うでしょうけど。

はい、どうぞ。

○（大八木生涯学習課長） それで、本当はもっと定員を増やせばよろしいでしょうけれども、先月お話ししたように、施設の規模がどうしても40人が最大だということでございますので、現状ではこれ以上は無理なのかなと。逆にほかの児童クラブは校舎ですから、こちらは40人ではなく38人が限度ということになっていきますので、今後、場合によって共稼ぎが増えることも考えられますので、そうすると対象児童も増えますけれども、それは今後の動向を見ながら検討したいと考えております。

ただ、現実1年間を通しますと、各児童クラブで5名から7名の出入りがあるということなので、現状ですと、今、待機になっている一部の児童も年度内には入れるのかなと、こんなことを考えております。

以上でございます。

○（岡本委員長） ほかに何か質問ございますか。

よろしいですか。

それでは、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結したいと思います、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第13号、放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正する規則の制定についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第13号、放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正する規則の制定については、原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第8

○（岡本委員長） 次に、日程第8、議案第14号、愛川町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定についてを議題といたします。

提案者の説明をお願いいたします。

教育長。

○（熊坂教育長） 議案第14号でございますが、先ほどお認めいただきました議案第12号に関連いたしまして、愛川町教育委員会事務決裁規程を一部変更したいものでございます。

詳細につきましては、担当よりご説明申し上げますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○（岡本委員長） では、河内教育総務課長、お願いいたします。

○（河内教育総務課長） それでは、私から議案第14号、愛川町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定についての説明をさせていただきます。

まず、お手元の資料1枚めくっていただきますと、規程を次のように定めるということで資料がございます。その下段に表が示されておりまして、これが上段の部分が別表第2中ということになってございまして、上段の部分が現行でございまして、下段の部分の枠が改正案ということでございます。まず、そのように見方をお願いをしたいと思います。

それでは、こちらの3つに区分が縦で分かれておりまして、まず左側から、これは事務決

裁規程ということでございますので、決裁者が教育長の決裁が一番左側の項目です。真ん中のところが教育次長の決裁とする枠になってございまして、一番右側が教育総務課長の決裁事務でございます。そのようにその点も見ていただきたいと思います。

先ほど組織等の規則の一部改正ということでお話をさせていただきましたが、通学助成については、平成22年度の新たな事業ということで取り組んできてもらったわけでございますけれども、平成23年度については入学準備金支給の事務が加わったことによりまして、その決裁規程を改正するというところでございます。

したがいまして、その下段の表を見ていただきますと、一番右側の教育総務課長の決裁事項で、通学助成金の支給の決定という項目を、以前は通学助成の決定でありましたけれども、助成金の支給の決定についての決裁を教育総務課長の事項とするものであります。新たな入学準備金の支給の決定についても、教育総務課長の決裁事項にするということの改正でございます。

以上決裁規程の改正により、平成23年度から、この決裁規程を施行し、事務執行をいたしてまいりたいということでございます。

施行日につきましては、附則にありますように、23年4月1日から施行するものでございます。

以上でございます。

○（岡本委員長） 説明ありがとうございます。

これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いします。

よろしいですか。

それでは、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第14号、愛川町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第14号、愛川町教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定については、原案のとおり可決されました。

---

◎日程第9

○（岡本委員長） 次に、日程第9、議案第15号、学校医の委嘱についてを議題といたします。  
提案者の説明をお願いいたします。

教育長。

○（河内教育総務課長） それでは、議案第15号でございます。学校医の委嘱についてということでありまして、このことについて、次のとおり提案するものでございます。記、学校名は、愛川町立中津第二小学校の学校医でございます。氏名については、伊藤忠弘先生、所属については、愛川北部病院の院長ということでございます。

この理由といたしましては、今、現在河野医院さんが中津第二小学校の学校医ということで委嘱をさせていただきましたが、ご都合によりまして、医師会のほうも脱退というような申し出がされたということでございます。

したがいまして、学校医の選任についても、町内医師会代表のほうから推薦をいただくというような方法をとってございますので、そこで河野医院さんの後任ということで、愛川北部病院の伊藤先生にお願いをするということでの推薦がございましたので、委嘱をさせていただきますものでございます。

したがいまして、4月1日に委嘱をさせていただくということでございますので、本日提案をいたしましてご審議をいただきご承認願いたいと思います。

以上でございます。

○（岡本委員長） 説明は以上です。

これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等がありましたらお願いします。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） よろしいですか。

それでは、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○（岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第15号、学校医の委嘱についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○(岡本委員長) ご異議ないものと認めます。

よって、議案第15号、学校医の委嘱については、原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第10

○(岡本委員長) 次に日程第10、議案第16号、学校薬剤師の委嘱についてでございます。

提案者の説明をお願いいたします。

教育総務課長。

○(河内教育総務課長) 議案第16号の学校薬剤師の委嘱についてでございます。このことについて、次のとおり提案するものでございます。学校名は、愛川町立半原小学校、氏名については、田端康さん、所属については、所属されていないとのことでございます。

次に、理由につきましては、田端さんについては、県立大和東高等学校にお勤めされておりまして、この3月に定年でお辞めになり、それで薬剤師の資格を有しているということで、薬剤師会への登録ということでの申し出がされたということでございます。

したがいまして、新たな薬剤師の育成も兼ねまして、薬剤師会としましてもお願いできないかという相談がございまして、それで現在伊藤薬剤師さんが半原小学校と、それから高峰小学校と、愛川中学校の3校の学校薬剤師を担当してございますので、この3校を担当するのも非常に厳しいというようなこともございまして、その1校については、ここで申し出のあった田端さんをお願いしたいというような要請の相談がありまして、その点については伊藤薬剤師さんの事情なども考慮し、また愛川町についても伊藤さんが主になって、この学校薬剤師等のお願いもできておりますので、そういった要請を受けまして、委嘱をさせていただきたいということでご提案をいたすものでございます。

したがいまして、4月1日から田端さんに半原小学校の薬剤師をお願いしたいということで、本日提案をさせていただくものでございます。

以上でございます。

○(岡本委員長) 説明は以上であります。

これより質疑に入ります。ご質疑、ご意見等ありましたらお願いいたします。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） では、ほかに質疑がありませんので、質疑を終結いたしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第16号、学校薬剤師の委嘱についての採決をいたします。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第16号、学校薬剤師の委嘱については、原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、議事のすべてが終了しましたので、閉会にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- （岡本委員長） ご異議ないものと認めます。

よって、3月定例会を閉会いたします。

長時間にわたり大変ご苦労さまでした。